

令和7年度 第3回総合教育会議

日 時 令和8年2月10日(火) 午後3時00分～午後3時18分

場 所 市役所第二庁舎8階 801会議室

出席者 15人

総合教育会議構成員

市長	白井 亨
教育長	大熊 雅士
教育長職務代理者	浅野 智彦
教育委員	小山田 佳代
教育委員	佐島 規

関係者

学校教育部長	大澤 秀典
生涯学習部長	平野 純也
庶務課長	内野 敦史
学務課長	笹栗 秀亮
指導室長	平田 勇治
統括指導主事	田村 忍
生涯学習課長	濱松 俊彦
図書館長	三浦 真
公民館長	鈴木 茂哉
庶務課庶務係長	小平 文洋

---

事務局

企画財政部長	梅原 啓太郎
企画政策課長	廣田 豊之
企画政策課係長	前坂 悟史
企画政策課主任	兼堀 義信

---

欠席者 1人

教育委員 穂坂 英明

傍聴者 1人

(午後 3 時 0 0 分開会)

◎白井市長 ただいまから令和 7 年度第 3 回の総合教育会議を開催いたします。

大変お忙しい中、お集まりをいただきまして、ありがとうございます。

本日の進行は、議長の私のほうで務めさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

教育長、教育委員の皆様には、日頃より小金井市の教育行政に多大なる御尽力をいただいていることを心より感謝を申し上げる次第でございます。

さて、本日は、今年度 3 回目の総合教育会議となりますが、委員の皆様から引き続き忌憚のない御意見を賜ればと思いますので、お願いをいたします。

時間も限られていますので、早速、次第に沿って議事を進めてまいります。

---

◎白井市長 初めに、議題の第 1 号「小金井市教育大綱について」を議題といたします。

説明をお願いします。

◎企画財政部長 小金井市教育大綱（以下「大綱」という。）につきまして、前回 10 月 14 日に開催しました総合教育会議以降の経過を御報告いたします。

前回の総合教育会議におきまして、大綱（案）をお示しし、御議論をいただきました。その後、委員の皆様からいただいた御意見を踏まえ、若干の修正を加えたものが、本日、資料 1 として配付しております大綱（案）となります。

こちらの大綱（案）について、小金井市市民参加条例第 15 条の規定に基づき、令和 7 年 1 月 20 日木曜日から同年 12 月 19 日金曜日までの期間でパブリックコメントを実施いたしました。

パブリックコメントにつきましては、市ホームページへの掲載のほか、市の公共施設に係る資料を設置し、直接持参、郵送、FAX、専用フォームにて意見募集を行ってまいりました。

大綱（案）に対するパブリックコメントの検討結果について、資料 2 を御覧ください。

お寄せいただいた御意見としましては、提出人数 6 人、延べ意見数は 11 件でございます。

意見の詳細は資料 2 の 2 ページ目以降を御覧いただければと思いますが、既に教育委員会において取り組まれている各施策への御意見もございましたので、いただきました意見については関係する教育委員会の各部署にも情報共有を行っております。

なお、検討結果につきましては、原案のとおりとしておりますので、配付しております資料 1 の大綱（案）について、本日、委員の皆様から最終的な御意見を頂戴できればと思います。

なお、大綱（案）に修正が生じる場合は、市長一任とさせていただければと思います。

今後につきましては、市において策定の手続を進めさせていただき、3 月中には新たな大綱の策定及び公表を行う予定でございます。

説明は以上になります。

◎白井市長 今、説明がありましたように御意見をいただいておりますが、比較的大綱に対する意見は、市民の皆さんも意見が出しにくかったのかと思います。どちらかというとなり具体的な事業や取組について御意見されている方が多かったという印象です。

同期間で実施した明日の小金井教育プランにも多くの御意見は出ていると思いますので、あくまでこちらは大綱という形で御意見をいただいたものの、特に反映する内容はなく、案のまま策定で進めればというところがございますので、本件について総合教育会議の場で確認は本日で最後となりますので、委員の皆様から御意見・御感想等がございましたら、お聞かせいただければと思いますが、いかがでしょうか。

◎佐島委員 大綱については、前回も意見を申し述べさせていただいたところで、今回の大綱の策定に当たっては、教育目標、教育方針との連携、整合を取っていただき、新しい時代の教育において大切な多様性の包摂や、共に生きる、その子らしさなど、理念や方針にしっかりと示していただいたことは、大変すばらしいことだと思います。

パブリックコメントを見せていただいても、この理念等についてその考え方に共感や賛同するという御意見も寄せられており、大変喜ばしいことだと思います。

今後は、このすばらしい大綱が教育委員会と市長部局との緊密な連携の下できましたので、これを具現化していくことが大切であり、それぞれの施策の取組においても、教育委員会、市長部局双方が連携、協力を一層進めるとともに、学校や地域とも連携、協働していくことで、ますます小金井市の教育が充実していくようにと願っているところです。私自身もできるだけ役割を果たしていきたいと思っております。

◎白井市長 貴重な御意見、ありがとうございます。

ほかに何かございますか。

◎小山田委員 大綱を読ませていただきまして、前回の教育委員からの意見も反映していただいているかと思いました。

私としては、全体としては本当にすばらしいというか、教育委員会の明日の小金井教育プランともリンクしていけるかと思っております。

あとは、市民への広報的な部分で、この大綱ができたらずひ市報に一度取り上げていただいて、小金井の教育はこういう方向で行きますということを市民に知らしめる広報活動をお願いしたいと思います。

1点だけ気になるのは、方針③の「地域・家庭・学校が協働し、その子らしさを引き出す教育の推進」の取組の方向性の3番目「地域と協働した食育、健康教育、安全教育を推進します。」ですけれども、前回も後期基本計画との整合性ということで、それは了解したのですが、ほかにも協働する教育分野がたくさんあります。この3つだけがここに書かれているのが、本当にもっとたくさんあるので、次の長期総合計画のときはやはり地域と協働したところも、いろいろと全体を網羅するような記載というか、内容を含めていただけたらと思いますので、次のときの意見を言って終わりにしたいと思います。

◎白井市長 ありがとうございます。

まず1つ目の広報のところですが、おっしゃっていただいたように、せっかく大綱を策定したのだから、これを市民の皆さんにしっかりと共有し、同じ認識に立っていただく必要があり、市報を含めて広報活動をしっかり行っていただきたいという御意見でございました。

市報で必ず大々的にというところまでのお約束はできないのですが、やはり行政目線で考えると、計画を策定しました、詳細は市ホームページを御覧くださいというお知らせをしているケースはあるのですけれども、おっしゃっていただいたように、せっかくいいものをより多くの方々にまず知ってもらうということは非常に重要なことだと思いますので、どういうふうに充実して市民の皆さんに示していけるかということは、宿題とさせていただきます。

協働に関しても、もっとたくさんの分野があるということで、議事録にも残していただいているので、次の長期総合計画に向けてこれも宿題とさせていただきます。

ここに書いてあることは特出しはしていますけれども、おっしゃっていただいたように、いろいろな分野で地域と協働していくということが重要だというのは、市としての認識はあります。ただし、やはり文言になるということが大事ということで御意見をいただいたと思いますので、その辺りも次の宿題ということで考えさせていただきます。ありがとうございます。

◎小山田委員 よろしくをお願いします。

◎白井市長 ほか、よろしいでしょうか。

◎浅野委員 大綱の策定が滞りなく進み、本当にありがとうございます。

今回の策定される大綱が、これから教育委員会と市との協力の土台になるのだと思っております。これを基にして、本日、我々のほうでも明日の小金井教育プランをお届けというところですが、教育委員会と市と二人三脚で歩調を合わせて、小金井の教育をますますよいものにしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

◎白井市長 ありがとうございます。

二人三脚でしっかりと頑張っていきましょう。

ほか、よろしいですか。

◎教育長 今回、小金井市の教育委員会も教育目標を改定したということと併せて、それを連携、整合を図る形で小金井市の大綱ができたことは本当によかったと思うところです。

私どもとして、教育目標をつくる時に一番悩んだ部分というのだけはお知らせしておきたいと思っております。それは、理念の1番の「全ての子どもが、主体的に学び合い、多様性を包摂し、創造力豊かに未来を切り拓く教育を推進するまち」ということになっているのですけれども、この多様性を包摂の「包摂」という言葉は、英語に直すとインクルーシブということになります。

インクルーシブということですが、私どもが使ったこの「包摂」という言葉は、初めは多様性を尊重するという言葉から始まりました。しかし、多様性は尊重するだけでいいのかという話になり、次に多様性を認め合う方がいいのではないか。認め合えばいいのですかという

ことを聞いた場合、それでもまだ足りない。それで、この「包摂」というのは、今言った言葉が全部合わさって、多様性を認め合い、尊重し、共に歩むという気持ちであります。

これをインクルージョンという、インクルーシブ教育という形を進めるわけではなくて、認め合い、尊重し、共に歩むということで使っておりますので、そのことをしっかりこれからも多くの人たちに分かってもらえることが重要であると思っておりますので、それがその子らしさを最大限に伸ばす教育につながると思っておりますので、その辺りを一緒に考えていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

◎白井市長 貴重な御意見ありがとうございます。

御意見等はもうよろしいですかね。

それでは、改めてこの場でもいただきました各委員の皆さんからの、そして教育長からの御意見も含めて、しっかりと共に連携を取りながら進めていければなと思っておりますので、よろしくお願いたします。

それでは、この議題は終了させていただきます。

---

◎白井市長 議題は以上なので、最後に教育長から総括をお願いします。

◎教育長 先ほど意見を言わせていただいたのですけれども、今回の大綱と、それから小金井市教育委員会の教育目標というのが、同時にこのような形でしっかり進めていけるということは、本当に意義深いことであると思っております。私どもの教育目標の策定に当たっては、1年半、2年ぐらいかけて検討を続けてきた経緯があり、ようやくここにたどり着いております。

先ほどの「多様性の包摂」という言葉も、実は昨年9月に、来年度の次期学習指導要領の論点整理というものが出されました。その中の3本柱の2番目が、この「多様性の包摂」であったため、大変驚きました。

実は「多様性の包摂」という言葉を初めて使ったのは昨年6月の議会ですので、小金井市のほうが先だったのです。先ほど言ったことを間違いなく進めていく必要があると思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

もう一回言います。「多様性を認め合い、尊重し、共に歩む」これが包摂という意味ですので、どうぞよろしくお願いたします。

◎白井市長 ありがとうございます。

それでは、最後に、私のほうからも一言申し上げさせていただきます。

今、教育長からもありましたように、「多様性の包摂」という言葉、その思いにつきましては、もう教育長から10回ぐらい聞かせていただいております。その思いはしっかり酌みたいということと、今回その大綱、もしくは明日の小金井教育プランも含めて、要するに教育の文脈でこの多様性の包摂ということをやってきたと思っております。

これは、まず子どもたち、その子らしさを引き出すそういう環境になるためには、全市民がそういう認識に立つということも、また大事かと思っておりますので、大綱ですから、教育に

関することではありますけれども、市長の立場でいきますと、子どもたちだけではなく、全市民として、小金井市としては多様性の包摂ということを、同じ認識に立てるようにしていきたいと思っております。

あわせて、先ほど小山田委員からもありましたように、そのためには市民全体で、要するに、学校、先生、教育関係者だけではなく、保護者、もしくは地域の皆さん全体で、この多様性の包摂というこの理念をしっかりと認識してもらえるように、我々も教育委員会と連携して、しっかりとこの大綱を知っていただくように取り組まないといけないということを改めて感じた次第でございます。

そのようなことも含め、今回のこの大綱として明日の小金井教育プランに書かれてあることを実践していくということの大切さと、一通り見てみますと、小金井市の教育資源も含めてですが、やはり小金井市が教育のまちであるということを改めて再構築する機会になるのかと思います。それは小金井市の発展のためにもいい話だと私は認識しておりますので、そのような思いを持ってこれからも教育委員会と連携を取って、様々な施策に取り組んでいければと思うところでございます。

最後に、次回への宿題も既にいただいておりますので、以前ここで申し上げたと思うのですが、大綱の改定のタイミングというものを、できれば基本構想を考える段階でやはり考えるということも、また必要なことかと思っております。

ただし、これは実際にそうできるかというのは、今後また調整が必要になってまいりますので、できるかどうかというのはまだ分かりませんが、改定のタイミングはそこのかと思っておりますので、そのようなことも含めて様々な宿題を得て、今後取り組んでいきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

それでは、日頃から小金井市の教育行政における課題に対し、真正面から取り組んでいただいている教育委員会の皆様には改めて感謝を申し上げますとともに、今後につきましても、引き続き皆様からのお力添えをお願ひ申し上げ、閉会の挨拶に代えさせていただきます。

以上で、今日は少し早いですけれども、予定した議題は全て終了いたしましたので、これもちまして、令和7年度第3回総合教育会議を終了いたします。ありがとうございました。

(午後3時18分散会)